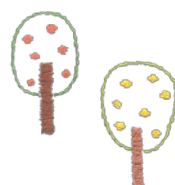


棚田に吹く風



9 2010
月号
Vol.72
隔月刊

2 特集

島棚田

5 フォトエッセイ

棚田のあるところ

6 棚田・里山からのたより

あぜ道に真紅の彼岸花が咲き誇り、
黄金色に育った稲穂とおりなす景観
福岡県うきは市浮羽町「つづら棚田を守る会」

8 棚田番長

田んぼの生き物たち

9 棚田博士は今日も行く

牧ノ原台地にある千框(千枚田)
静岡県菊川市上倉沢

12 会員のひろば

14 棚田ネットワークの かつどうノート

kamyのつぶやき

15 Project Report



特集

島棚田



海を背に岩ノ塔を馬蹄型に囲む的山大島の棚田

島棚田を見れば、昔の
日本が見えてくる！

日本は言わずと知れた島国……。でも、普段都会に暮らしている私たちは、そのことをどのくらい意識しているでしょうか。

日本の文化は常にこの島空間と密接に関わっていました。傾斜の急な山、海流の交わる海、その間にある棚田。これらを結ぶことで、豊かな文化を育んできました。ところが、生活が欧米化していく中で、あたかも広大な大陸に住んでいるかのような錯覚に陥ります。

佐渡・岩首棚田の大石さんは言います。島には日本の原型が残っていると。今、「島棚田」を見ることで、大切なものを思い出してみませんか。

みなさん、「島棚田」と聞いて何を想像しますか？ 今号は、今年7月の棚田ネットワーク佐渡ボランティアツアーの成功を祝して「離島の棚田」を特集します。海を隔てた島の棚田。どこかロマンを感じませんか！

さどがしま
佐渡島
新潟県佐渡市

特別寄稿

佐渡に棚田？ 佐渡島に田んぼがあるの？

新潟県佐渡市岩首 大石 惣一郎（自称・棚田おじさん）

佐渡島は日本で一番大きな離島だという事はご存じですか。現在は6万人強の人口ですが、江戸時代、佐渡金山の全盛時には相川地域だけで10万人を超す人が住んでいたそうです。その膨大に膨らんだ人口の、生きる糧を確保するために佐渡の棚田は拡大をしたようです。

佐渡島は大まかに、大佐渡、国仲、小佐渡の3地域に分けられます。私の住む岩首集落は、小佐渡地域、前浜海岸と呼ばれる海岸線の中央にある、戸数60戸弱の小さな棚田集落です。棚田は農地・食料基地としては、全く適さない耕地。経済至上主義に照らし合わせたら、消えゆく耕地でしょう。佐渡に生きた多くの先人達が、どんな思いで棚田を開墾したかは知る術もありませんが、急勾配の棚田を麓から眺めた時、何故この地にこんな耕地を作ったの、と彼らの偉業を時々腹立たしく思うこともあります。

佐渡の棚田の多くは集落からは望む事が出来ず、急峻な山にへばりついていて、農道を登って行くと突然現れます。早朝作業のために山に登ると、眼下に広がる佐渡海峡から登る朝日。夜遅くまで農作業をして帰る時に見える対岸のネオンや漁火。

あづちおおしま 的山大島

長崎県平戸市



九州の北西端 平戸島や生月島とならぶ西海の離島、的山大島は、島面積15・5平方キロに150鈴の水田があり、その大部分が棚田であり、九州きっての島棚田といえるでしょう。特に海に面して、岩ノ塔がある瀬ノ上地区の棚田は離島ならではの絶景と言えます。（詳しくは、『棚田に吹く風』2009年4月号を参照）

島情報

長崎県の平戸島の北10里に位置する島。古くから海上交通の要所として知られ、遣唐使が寄港したり、倭寇の中継地となった歴史を思わせる「海賊ヶ浦」という地名も残っています。複雑な地形の海岸線は各所で断崖となっており、島の北東部にある大賀断崖は絶景。「的山（あづち）」は、流鏑馬で盛土に矢を立て年始の祈をしたことに由来するそう。平戸島平戸港からフェリーで渡ることができます。

すおうおおしま 周防大島

山口県大島郡周防大島町



瀬戸内東部の島棚田といえるのが、民俗学者宮本常一の出身地、周防大島です。旧久賀町の棚田跡は、かつては海から山までが棚田だったと言った宮本常一の言葉が想像できそうな立派な石積み。現在は耕作放棄率が高く、そのほとんどがみかん畑にかわっています。写真は、周防大島町（旧大島町）三浦地区、今も耕作が続く文殊堂の下での棚田です。

島情報

周防大島は山口県東南部に位置する島で、瀬戸内海に浮かぶ島では淡路島、小豆島に次ぐ面積を有し、大島大橋により本土と繋がっています。島の正式名称は「屋代島」ですが、一般的には周辺の小島を含めて周防大島と呼ばれることが多いようです。山陽自動車道「玖珂・C」から大島大橋まで車で約30分ほど。電車では、「JR山陽本線「大島駅」から島内各所へのバスが出ています。

そして月明かりに照らされた、等高線状に広がる棚田。農地としての価値以上に、日本人の心の故郷として、歴史遺産として、守るべき価値を深く感じるこの頃です。

辺地の共通課題、過疎高齢化の中、佐渡の棚田は風前の灯です。平場と違い、棚田は一年耕作放棄すると、復田する事がとても困難になります。海と朝日と漁火を望む棚田を存続させるためには、消費者の皆さんに棚田に興味を持っていただき、関わっていただく事が不可欠です。

潮風に稲穂が揺れる「石首棚田」に、皆さん是非お越し下さい。そして棚田の価値・意義について、沢山のご意見をいただければ幸いです！棚田は貴方の心の故郷です！

※今回寄稿いただいた大石さんは、8ページの『棚田番長』コーナーにも登場しています。

島情報

右／7月の佐渡ツア－での1枚。海を大きく見おろす棚田は壮観な山間から海沿いの集落まで棚田が連なる。



新潟市の西に浮かぶ日本最大の離島。対馬暖流の影響で冬暖かく、夏は涼しい気候で、雪もほとんど積りません。かつての流刑地であったことから独自の文化が発達し、能楽、鬼太鼓、文弥人形などの多彩な民族芸能を今に伝えています。日本最後の野生トキの生息地となった小佐渡東部地域でのトキの人工繁殖、野生復帰への取り組みをきっかけに、環境保護に対する意識が高まっています。新潟港から高速船がフェリーで渡るのが一般的。

しょうどしま てしま 小豆島・豊島

香川県

島情報

島棚田として一番有名なものが、百選の棚田「中山千枚田」を有する瀬戸内海の小豆島でしょう。中山千枚田は小豆島のほぼ中央、殿川中流域にあり、大小700枚あまりの棚田が約9畝にわたって広がります。全島で150畝以上の棚田があり、瀬戸内の風光明媚な島の情緒を演出しています。

またお隣の小豆、豊島（香川県土庄町）の唐櫃地区では、昨年棚田保存会が発足し、「瀬戸内国際芸術祭」を機に再生事業をスタートしています。

小豆島は、香川県の東部・瀬戸内海の中ほどに位置する、備讃瀬戸地域を代表する観光の島。小豆島町・土庄町の2町からなり、オリーブや醤油の生産が盛んです。小豆島の西3・7kmの海上にある豊島は、豊島石の採掘・加工業が盛んで、壇山（340m）からは四国や中国地方の山々が望めます。豊島へは、岡山、高松、小豆島の各方面から出ているフェリーで行くことができます。

瀬戸内国際芸術祭2010

アートと海を巡る
百日間の冒険

香川県の直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、高松港周辺、岡山県の犬島を会場に開催されている、島々の歴史や文化を生かした現代アートの祭典。美しい景観と自然の中に、日本全国・世界各国から世代・地域・ジャンルを超えた人々が集い、地域の人々と交流し協働することで、島に暮らす人々の元気を再生し、瀬戸内海の魅力を世界に発信するプロジェクトです。7月19日から10月31日まで。



塩田千春『遠い記憶』（撮影：中村脩）

島歩きを楽しむ

編集部・久野 大輔

島歩きをするようになったのは、今から6〜7年ほど前。日本の島ガイド『シマダス』（財団法人日本離島センター発行 再版未定）という本を手に入れてから……。なんでも、島旅好きのバイブル的な本らしい。この本に刺激を受け、ここ数年で沖縄、瀬戸内海、紀伊半島、東北、新潟近辺のいくつかの島に行った。

島歩きの魅力とはなんだろう？ 改めて考えたことはないけれど、一つは、海を隔てて明確に切り離された異空間を感じられることではないかと思う。港を中心に張り巡らされた迷路のような露地、そこは確かに生活の場ではあるのだけれど、なんだか異国にきたような不思議な感覚になる。「あの角を曲がったら何があるんだろう」「あそこまで登って海を眺めてみよう」「綺麗な段々畑だな」。限られた土地にぎゅっと凝縮された人々の知恵が溢れている。長い歴史の中で自然と闘い、調和してきた痕跡が見える。

以前訪れた愛媛県伯方島、バスを待っていたら、「どこまで行くの？」と地元のおばちゃん。「乗せて行つてあげる」と半ば強制的に車に乗せられ、途中「私の大好きな場所を見せてあげる！」と、地図にも載っていないような小さな池に案内してくれた。車の中でもずっと島の自慢をしていたおばちゃん。その土地を愛する人の話は楽しい。

さて、今年は瀬戸内の島で国際芸術祭が開催されると聞いた。「棚田」と「島」と「アート」、この三つが融合？ 自分にとってこんなに興奮することはない！ 9月に少し遅い夏休みを取って出かけようと思う。



小豆島の中山千枚田



豊島の棚田（撮影：中村脩）



大塚 雅貴



新潟県十日町市松之山地区

棚田・里山
からの
たより



あぜ道に真紅の彼岸花が咲き誇り、黄金色に育った 稲穂とおりなす景観

福岡市うきは市浮羽町「つづら棚田を守る会」



上：秋 彼岸花の咲く頃／下左：棚田オーナーの田植え H22年度オーナー会員数103組／下中：田植え／
下右：森林セラピーコースになっている H21年度実績（セラピー参加者）124人

「耕して天に至る」。これは畑地を開墾してきた中国の言葉である。日本は山から水を引いて高いところから田を作る。よって「耕して地に至る」これが日本の農耕の発想である、と過去に読んだ事がある。まさにこの言葉通りの高地（標高500^{メートル}）に、日本の棚田百選「つづら棚田」がある。石積みで不揃いの田んぼが、懐かしい日本の原風景を創り出している。

この「つづら棚田」のあるうきは市は、福岡県の東南部に位置し、南に久留米市より連なる耳納（みみづな）連山、北に有明海に注ぐ九州第一の川、筑後川に抱かれて、自然豊かな「日本の故郷」を感じる街です。

つづら棚田の現状

「つづら棚田」は、うきは市浮羽町市街地から約10^{キロ}の山中（地名…葛籠（つづら））にぽっかりと開けている。400年前から先人たちが守り続けてきた石積みの棚田が約7

畝の斜面におよそ300枚連なっている。大きいものは10^坪、小さいものは1坪程度のものまであり、畦は曲がり、水利は沢水で田越し、農道は狭く、耕作条件は不利な田んぼである。収穫量は10^{アール}あたり約300^{キロ}で、平坦部の480^{キロ}と比較すると経営的には大変厳しい。昭和20年代は約50戸の農林家が存在する集落であったが、現在5戸までに激減し、高齢化の進むムラである。

保全への取り組み

平成17年、1軒の農家より「体調不良と後継者の仕事の関係から、どうしても棚田の耕作が出来ない」と行政へ窮状が報告された。そこで地域のリーダー的な人に参加をしてもらい、協議を重ねた結果、「地域内の出来る者で耕作をしよう」「市もいくらかの助成を出そう」との方針から「つづら棚田を守る会」が発足した。

早速、平成18年春より、耕作面積0・6畝・会員16名で米作りがスタートした。その後、高齢による耕作放棄者が出て、本年度は1・1畝・会員も増えて40名となった。会員は、年齢(30代〜70代)、職業(市役所・JA・会社員・経営者・農業・市会議員等)ともに様々で、見識の高い意見が幅広く集約でき、順調な運営がなされている(本当は作業後の飲二ケーションが結束を高めている)。

農作業は稲作り全般にいたり、すべて会員の手で行う。4月の桜便りが聞かれる頃、田おこしとあぜ草刈り作業が始まる。並行して箱苗は、会員の一人が170箱を準備する。

5月にはいると、畔塗り作業、これが大変な重労働であり熟練の技がいる。鍬を使い畔に沿って水漏れがしないように泥を塗りこんでゆくのである。限られた人しか出来なかったため日数を要したが、昨年からは機械を導入した。今は、トラクターを操作する人と、”てご”(助手の事をこの地方ではこういう)の二人で1日で終わってしまふ。



冬 雪が舞う

■ つづら棚田へのアクセス

【電車】JR久大本線の「うきは駅」下車、タクシーで20〜30分。

【自家用車】大分自動車道の杷木IC〜国道386号線を横切ってうきは市街地へ。そこから、合所ダム、うきはカントリークラブ方面へ向かい「四季の舎 ながいわの郷」へ、ここより歩いて数分。

■ お問い合わせ

【うきは市農林・商工観光課】
〒839-1393
福岡県うきは市吉井町新治316
Tel.0943-75-4975



5月がもつとも忙しい。棚田に引く水は沢水のため、量が限られている。それも昔から、高い所の田んぼから順番に水を引く決まりになっており、天候と水量に気を使いながら、水の入った田んぼから順に代かきと田植えを交互に終えて行く。会員の多くが勤労者のため、平日の作業力を確保することが難しく、つい還暦を少し過ぎた壮年者に頑張ってもらうことになる(この年代が一番の戦力である)。

田植えの終わった直後、「つづら棚田」の特徴的な作業が待っている。”樋作り”である。沢から水を引くために竹樋を使う。樋は孟宗竹を半割にして節を抜く。多分棚田が生まれた400年前から利用

今後の課題

されていたと推測されるが、ゴミが詰まりにくく、水量の調整ができ、なにより冷たい沢水が温まるという二重三重の利点がある。
6月から稲刈りまでは、田んぼの中の草取り、畦草刈りの作業を繰り返す。実りの秋には、あぜ道に真紅の彼岸花が咲き誇り、黄金色に育った稲穂とおりなす景観は見事で、この時期に開催される「うきは彼岸花めぐり&ばさら祭」は市を挙げての大イベントとなっている。期間中の来客数が2万人を超えるこの祭りの最終日に稲刈りをするが、今年は9月23日に決まった。

地域全体で高齢化と過疎化が確

実に進行しており、「つづら棚田」だけを守る会ではなく地域(新川地区)全体の棚田を守る会として、昨年から畦塗りの請負作業に取り組んでいる。今後は代かき、田植えとさらに活動の場をひろげ、高齢化時代に対応したい。

また、この地区の景観を守り耕作を持続可能にするためには地域外の労働力を確保することが必至と考えている。

終わりに、先人たちが厳しい労働に耐え築いてきた貴重な文化遺産を守り、育て、より多くの人達に感動を与えられるよう、「つづら棚田を守る会」はこれからも、快い汗“をながしていきます。

つづら棚田を守る会 会員 米川更生

棚田番長

大石惣一郎 (58歳)

新潟県佐渡市 岩首棚田

ここは、新潟市の西の沖合いにある離島、佐渡島。

大石惣一郎。小佐渡東部に位置する故郷「岩首」、そして海を見下ろす絶景棚田をこよなく愛する男。自称「棚田おじさん」？ いやいや、その風貌からして、あなたは明らかに「棚田ちよい丸おやじ」、アラ還の不良番長だ。

その出で立ちとは裏腹に、頻繁にブログを更新して地域の情報を発信、親しみやすい人柄を慕って再び佐渡を訪れる若者は後を絶たない。



田んぼの生き物たち

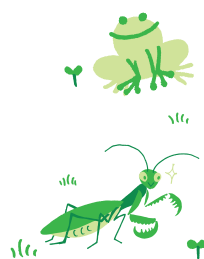


写真：桐原真希

「ぎー、ちよん。ぎー、ちよん」という虫の鳴き声を聞いた事がありますか？ 夏から晩秋にかけて、田んぼや草地でラブコールを続けるキリギリスの声です。「アリとキリギリス」の寓話でも有名な虫ですから、きくと聞いた事がある名前ではないでしょうか？

初めてキリギリスを手にとった時、私はその大きさに驚きました。もっと小さい虫と思っていた

第21回 キリギリス



ので、がっしりとした体つきに、トゲトゲの脚がとても印象的でした。キリギリスを持ち替えようとちよっと指を動かした時、「彼」は私の人差し指をガブツとひと咬み。まるで小さなトラバさみにでも挟まれたかのような痛さ。なんと血まで出てきました。まさか、キリギリスに咬まれて出血するとは、一つ貴重な(?)体験をしました。さすが肉食系の昆虫です。

私が関東地方に住んでいたときはあまり見かけない虫でしたが、鳥取県に住むようになってからはごく身近な虫になりました。身近にいるはずの生き物が次々と姿を消している今日、キリギリスが身近にいるのはとても幸せな事だと思えます。

この秋、是非田畑の回りから聞こえる演奏に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。きくと虫たちの愛のメッセージが響いているかもしれませんよ。

(自然観察指導員 桐原真希)



棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の
全国棚田行脚

牧ノ原台地にある千框(千枚田)

静岡県菊川市上倉沢



菊川市は静岡県の西部、2005

年に菊川町と小笠町が合併して誕生した新市。東海道沿いに名のある都市が並ぶなかで、島田と掛川に挟まれやや地味な存在であるが、茶の産地として知られている。上倉沢は菊川市の北部、東海道線の金谷駅と菊川駅のほぼ中間にあり、牧ノ原台地を刻んで流れる菊川の谷底平野にある集落である。

上倉沢の千框は、1999年に静岡県の棚田等十選に選ばれてから知られるようになった棚田。千框のマチは畝町直しのマチに通じ、本来土地の区画をあらわす言葉であることから、千框は千枚田と同義と考えてよい。したがって、上倉沢千枚田と呼ぶこともできる。

JR金谷駅から茶畑を抜けて

2009年11月下旬に上倉沢の千框を訪ねた。前日、上倉沢棚田保全推進委員会の会長・山本哲さんに在宅を確認するため電話を入れると、「東海道線の金谷駅で待っているの、そこから一緒に歩きましょう」ということになった。早朝、新幹線のひかり号で東京を発ち、静岡で在来線に乗り換え、金谷駅に9時前に到着した。

待ち受けていた山本さんはリュックを背負いハイキングの出で立ち。まわりはJRが企画する旧東海道を歩くハイカーで溢れていた。早速、駅前を走る国道473号を牧ノ原台地へと向かう。目の前に立つ牧ノ原の段丘崖は100以上の高さがある。坂を上りかけたところで国道からわかれ右折、旧東海道金谷坂の石

なかしま ひろひろ 中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO法人棚田ネットワーク代表。棚田学会会長。全国棚田(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミット開催地選定委員会委員長。1933年宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地歴科卒。2004年まで早稲田大学教育学部教授。著書に『日本の棚田—保全への取り組み』『百選の棚田を歩く』『続・百選の棚田を歩く』(以上、古今書院)。現在、百選外の棚田についての執筆準備のため全国行脚中。

畳道に入る。石畳は、竹下政権のときふるさと創生1億円の事業で洪積台地から出てくる玉石を集めて復元されたもの。標高110から210の台地上まで坂道を一気に上るため、息が弾む。

坂を上りきると、凍霜害防止のファンが一面に林立する茶畑が広がっていた。道の傍らに「馬に寝る残夢月遠し茶の畑」と刻まれた芭蕉の歌碑があり、その背後には2基の大きな貯水タンクが茶畑の一角を占めていた。(注1)

タンクを右に見ながら県道234号を辿り南下、標高213の最高点から標高70の谷底平野の集落・



上：小さな田んぼが連なる／中：周辺には茶畑の風景が／下：昭和40年代の風景（モリサワ写真店提供）



上倉沢までひたすら坂を下る道である。台地上の茶畑は1台450万円もする乗用の大型茶摘み機で収穫するため、その頂部がフラットに近い樹形をしている。道は、台地の平坦面から菊川に侵食された斜面に入り、茶畑の間に数枚の棚田がみられるようになる。法面は土坡、高さが1メートル前後、1枚の大きさが1〜2アールほどの棚田である。乗用の茶摘み機が入らない急斜面の茶畑は2人で茶摘み機を持ち、歩きながら片面ずつ摘み取るため、見慣れた円弧の樹形をしている。右手に神谷城の集落が見える辺り、左手斜面一帯の茶畑は1980年頃まで棚田だったとのこと。地図上でも溜池の存在を確認することができる。山本さんは、東京

で大学生活を送っていたとき、茶摘みを手伝うために金曜日東京発の夜行列車に乗り、南アルプスに向かう登山客と一緒に大井川鉄道の起点金谷駅で下車、早晩この道を歩いて帰宅したことを思い出すと懐かしそうに話をされる。歩き始めて、溜池の堤で休んだ時間などを差し引くと、およそ40分で上倉沢に到着したことになる。

小さな田んぼが広がる千框

目指す千框の棚田は集落の東、谷底平野から牧ノ原台地にかけての地（注）にできた傾斜11分の1の斜面にひらかれていた。地（注）に地であることは水抜井戸の存在で確認できる。集落を底辺にして馬蹄形をした道で囲われる千框は面積10・1畝、枚数2742枚、1枚の広さが平均0・4アという狭さ。枚数は、小学生に割箸を立ててもらって計測したもの

で千枚田と呼ぶに相応しい規模である。（注）

しかし、現在耕作されているのは面積1・5畝、枚数は140枚ほど。そのうちの40枚は7名の地権者が所有し、谷底平野に近い部分にある。法面の高さは1メートル前後、1枚が1・5〜2・0アールの広さがあり、千框では比較的大きな棚田である。残りの100枚は放棄された棚田を上倉沢棚田保全推進委員会が復田、管理しているもの。そのうちの14枚は3年前から都市住民の支援組織棚田クラブに農業体験田として年会費2000円で貸し出されている。各棚田には個人名の名札が立てられ、1枚はまことに小さい。大きくても1アール程度、小さいものは0・1アールにも満たない量1〜2枚ほどの広さ、法面の高さも30センチあるかないかの小さな棚田である。これらに接して、推進委員会の会計を務める堀幹夫さんの放棄された棚田がある。堀さんによれば、40アールの面積に3000枚の棚田があったというから、1枚の広さは0・13アールほど。したがって、ここには、かつて農業体験田のような小さい棚田が一面に広がり、千框を代表するような景観が作りだされて

ていたものと想像される。

米作りから茶業へ

製茶工場を併設する山本さんの家で暮らしたことや推進委員会のことなどを聞いた。山本さんは60歳、奥さん58歳、81歳と80歳の両親、次男28歳の5人家族。水田1畝と茶畑3・2畝を所有し、一家が農業に従事、製茶で暮らしをたてている専業農家である。水田は45アールを耕作、そのうちの30アール、3枚は平坦地の水田で主として飯米・縁故米として粳米を耕耘機・歩行型2条田植機で栽培、収穫は委託している。残り15アール、19枚は千框とその周辺にある棚田で糯米を管理機や歩行型田植機・バインダーなどを用いて両親が耕作しているそうだ。

茶畑は、台地上に1畝、斜面に1・5畝、谷底平野に0・7畝があり、これらが6か所に分散、なかでは水はけのよい斜面の茶畑が質・量ともによいという。作業は、繁忙を極める茶摘みが5月上旬の一番茶、それから45日後の6月中旬の二番茶、9月下旬の秋冬番の3回行われる。なかでも一番茶が収量・価格の面からみて最も重要であり、これによって

経営が左右されるといっても過言ではないと仰る。

製茶工場を個人で所有するのは上倉沢では2戸のみ、ほかの人は共同の製茶工場を利用している。山本さんの家では茶摘みのシーズンになると近くに住む叔父さんが手伝いに来て工場での作業を引き受けてくれる。山本さんは、乗用の大型茶摘み機で工場の加工能力である1日2000^キの生葉を収穫する。これを朝7時から夜11時まで稼働する工場で蒸し・揉み・乾燥の工程を1日で終え、お茶に仕上げる。**(注3)**

一方、農業の関心が茶業に傾斜していくなかで、千榎は放棄され年々荒廃が進んだ。お茶の値段が高騰した1970年代後半の頃から放棄す

る人が多くなり、堀さんのようにすべての棚田を放棄して茶業に専念し、飯米は購入するという農家が出現するようになったのである。

もう一度美しい景観を

山本さんは、この現状を座視することが出来ず、ある集落の会合で「千榎の脇にあるお墓は反対を向いて立っているからいいけれど、田圃の方を向いて立っていたらご先祖さまは悲しむだろうな」とつぶやいた。この言葉に心をゆすぶられた茶の生産農家15戸が結集、山本さんを会長にして棚田を保全する「千枚田を考える会」を発足させた。会員の奥さん方もこれに賛同、ほかに数名の仲間を引き入れ18名で女性部を立ち上

げた。

考える会は、放棄された棚田の復田を始めた。1999年に静岡県棚田等十選に選ばれると、会は名称を上倉沢棚田保全推進委員会に改め、一段と活動に力が入り、復田面積の積み上げを行ってきた。また、2007年には3年間の期限を設けて棚田クラブの体験プログラムをスタートさせた。その事業が今年で終了するため2010年からは棚田オーナー制の導入を考えているという。さらに、組織をNPO法人にすることも申請中とのことで、保全活動の盛り上がりを感じられる。この勢いを駆って千榎が完全に復田され

れば日本一の景観がづくりだされることになるだろう。

*注1

タンクは茶園の凍害雪と干害防止のための灌漑施設。牧ノ原製茶事業によるもの。事業は3つのステージにわかれ、第1ステージは集落を単位とする地区まで、第2ステージは40〜50^キを単位とする団地まで、第3ステージはスプリンクラーを設置した圃場まで配水される。山本さんの茶園は第2ステージどまりで、第3ステージまで事業を完成させないと凍害雪防止には利用できないそうだ。

*注2

集落に残されている1969年4月20日の新聞(静岡新聞)中目新新聞のスクラップに掲載されている千榎の写真は石川県輪島市白米千枚田を凌駕するような景観である。

*注3

1日で収穫できる面積は30^キ前後なので3・2^キの収穫を終えるのに10〜12日を要する。この期間、睡眠時間は4時間しかないが、ここでの成果が茶業農家の1年の暮らしを制するところば頑張るしかないという。

平成22年よりスタートした「棚田オーナー制度」は来年度の募集については未定。順次「棚田いこうよ.net」にて案内予定。上倉沢棚田保全推進委員会は平成22年2月5日、NPO法人せんがまち棚田倶楽部として認可された。

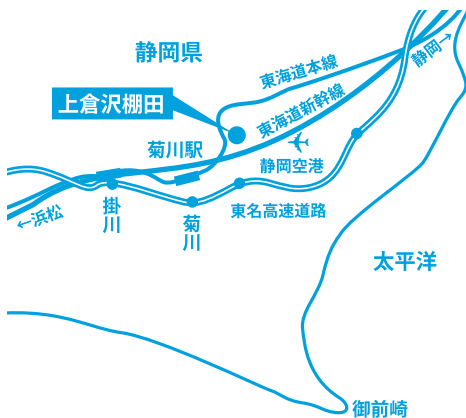
千榎(千枚田)のホームページ 棚田いこうよ.net

<http://www.tanada1504.net/>



日々の活動記録や棚田にかかわる様々な人々の様子、作業の予定などをホームページとブログで楽しく伝えてくれます。とっても楽しいホームページなので、是非見てみて!

上倉沢の千榎棚田へのアクセス



【自家用車】東名高速・菊川I.Cから約7.6Km(約10分)、国道1号線バイパス・島田市菊川I.C(静岡方面)から約3.7Km(約5分)

【公共交通】JR菊川駅→車15分

会員の声

200kmか、 距離的には丁度良いな…

東京都杉並区 玉崎 修平

テレビ番組で知った“棚田オーナー制度”と趣味の“自転車”が結びつくのにさほど時間はかからなかった。

昨年、乗鞍高原ヒルクライムレースにふらっと参加し、公式タイムが分かると「もう少し速くなりたい」という向上心が芽生えた。定期的なトレーニングと食事管理、まさにLOHASな生活をしていた自分(柄にもなく)にとって丘陵地での田植え、稲刈り、それに収穫した新米のプレゼントというこれ程に好都合な制度はなかった。信州稲倉棚田を候補地にしたのも、自転車で行けるロケーションであった事。自転車乗りにとって200kmは一日で走りきれぬ丁度良い距離なのだ。

荒川を北上して熊谷を経由、高崎に出る。そこから北国街道沿いに碓氷峠を越えて軽井沢、佐久、そして上田市へ。

上田市街で前泊し、翌日に棚田へと向かった。距離は10km程だがさすがに丘陵地、手強い勾配が続く。少々道を間違えるというオマケ付きで遅れて到着した私は(もちろん、自転車で登ってきた輩は他になく)注目の的となった。

しかし、自転車好きというのはどこにでもあるものだ。飼犬散歩の立ち話がごとく話題



は事欠かず、すぐに打ち解けて時間を忘れる。そのため遅れての田植えスタートとなり、地元の方々も手伝ってくれる事に。

束になった苗を適量むしり取っては泥底にヌブツとねじ込む。気付くと水面のアメンボが波紋をつくり、アマガエルが木の葉のように浮いている。泥の柔らかく優しい感触も少年時代の体験が呼び起こされる。ただ単純に楽しみ、笑い、好奇心が沸き立つ。もしかすると、段階的につなぐ体験の記憶が30年分抜け落ちていたために、ただもう少年だった頃に戻るしかないからかも知れない。

田植えの体験は確実に私の好奇心を刺激して色々な構想が思いついた。「自転車で収穫した米を都内まで送り届けるのは面白いのでは?」「棚田のランドスケープに絵を描くように田植えしていくと面白いのでは?」

棚田ネット会員になって、今後色々な企画を立ち上げていければ良いと思う。

会員のひろば



会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください! ご要望、感想やご質問でもOK!(会員の声800字まで、会員レポート400字まで。写真も添えて) 〒160-0003 東京都新宿区西新宿7-1-116 トーシンハイムセー七〇号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受け付けています ↓ hiroba@tanada.or.jp

会員レポート

佐渡復田ボランティアに参加

東京都杉並区 國井 孝昭

関東地方の梅雨明け、その日に佐渡へ渡る。100年風雪の重みある岩首小学校後の岩首談義所が活動拠点である。開幕のミニシンポジウムで棚田の文化的価値に思いを巡らせ、翌日の炎天下は月布施棚田で除草に汗を流し、夕刻には地域、会員の親睦交流である。棚田の景観的価値保存に加え、地域交流に棚田ネットワーク事業の真髓が覗えた。

年齢、還暦の新参者として棚田保全の意義を述べてみる。近代農政の「田を作らず米を作れ」では農業衰退に歯止めがかからず、百姓が農の本質と向き合い生産する自由を奪われている。しかし棚田には田を作る自由の根強い意志を感じざるを得ない。我々は自然が育む農作物に条件を付けてはならず、自然と共生する百姓の自由を守るためにも天然から与えられたものを調理する自由を探索すべきである。これが食糧危機や資源不足回避の道理ではなからうか。我々は食べ物なしには生存できないのだから、棚田保全を通じ、一義的に百姓の自由を守るべきなのである。





大蔵収穫期

宮城県仙台市 村越 康彦

僕に棚田を意識させ、定期的に訪れていた棚田です。杭掛けの秋の収穫期の風景が絶品でしたが、今年は耕作がなされないため、今秋は見られません。この素敵な風景を再び見たいと願っています。(山形県山辺町 大蔵棚田)

会員のみなさんのベストショット募集!!

みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます!



■送り先はこちら!

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号
「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています ⇨ hiroba@tanada.or.jp

編集部イチオシ! BOOK & Movie



小屋丸 冬と春



2009年 フランス/日本
2010年10月2日～29日 渋谷ユ
ロススペースにて公開予定
配給:「大地の芸術祭の里」総
合案内所 モノクロ/デジタル

フランスを代表する現代美術作家のジャン
IIミシェル・アルペローラが、「大地の芸
術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に参
加した際に魅了された十日町市小屋丸集落
を舞台にしたドキュメンタリー作品です。
棚田を中心とした昔ながらの生活が、ヌー
ヴェルヴァーグを思わせる斬新なカメラ
ワークと淡々としたリズムで描かれます。



心に残る名風景 日本の棚田



キットタケナガ 著
¥1,995 (税込)
ビエ・ブックス
2010年5月

フリーカメラマンのキットタケナガさん
が、8年にわたる棚田巡りで撮影した全国
津々浦々、総数50力以上の棚田の写真集
です。四季折々の美しい棚田の風景を満喫
できます。著者は十日町市の松之山地区で
稲作をし、人の営みがあつてこそその美し
さに目覚めたようですが、風景だけでなく、
棚田に暮らす人々の生活も垣間見ることの
できる、心温まる写真集です。



プロが教える農業のすべてがわかる本



八木 宏典 監修
¥1,575 (税込)
ナツメ社
2010年7月

日本農業の基礎知識から世界の農と食ま
でを解説したカラー図解タイプの実用本
です。棚田の写真提供で棚田ネットワー
クも協力しています! 棚田の情報も満
載。スタッフに大好評で、貸出中にて実
物が事務局にありません(笑)。

心のふるさと『棚田・里山展』

2010年8月4日～8日 報告 高野 光世

8月4日(水)から東京・池袋の西武デパート7階で開催された「心のふるさと 棚田・里山展」。縦2メートル・横3メートルの「コルトン(内照式大型電照看板)」に映し出された日本やアジアの棚田は大迫力で、見る人は皆「きれいねえ……」とため息。ミュージカルやお囃子のミニステージは毎回立ち見いっぱいの盛況。棚田ネット会員も会場案内&説明スタッフとして活躍しました。入場者は5日間で約7600人だったそうで、たくさんの人に棚田のすばらしさを感じてもらえたのではないのでしょうか。



豊かに生きる『助はんどう』の清水が旨かった ～棚田調査プロジェクト～

2010年7月24日 報告 永瀬 孝

大井谷棚田は島根県の西南端で山口県に接している。柳井市の榎本、下関市の河野と東京からの私が2～3.5時間かけて着いた吉賀町柿木は中国山地を流れる清流高津川に沿って開けた山間の町。気温34℃は東京と同じだが空の青、木々の緑が圧倒的だ。町の庁舎で調査を開始。

産業課職員の棚木(とちぎ)氏と村上さんの棚田に寄せる思いの強さが伝わる。棚田展望台では『助はんどうの会』前会長の三浦さんに炎天下の東屋で取材。背丈ほどの石積みと稲の緑が美しい。『これぞ棚田』の風景を堪能した。



棚田ネットワークの かつどうノート



このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

Kamyの 【カミー】 つぶやき



つぶやき人
事務局スタッフ カミー
(所沢市在住)

『もったいないお化け』を自認する事務局長は旧式のパソコンを大切に使い続けています。このパソコンも数ヶ月前から時々フリーズするようになり、そのつど溜息！最近はその頻度も高くなり、ついには起動せず。やむなくウィンドウズ7の最新機種に入れ替えました。

パソコンと言えば、先月にも事務所でひと騒動、皆さん冷たい麦茶はいかがですかこれが裏目に。ひっくり返った麦茶がノートPCを襲う。すぐさま拭き取るも画面は消え反応なし。このPCは編集部・久野さんの商売道具で私物。やたら高価で、使っているアドビのソフトだけでも20万円もする。ご本人も、こぼしたYさんも真つ青！貧乏NP Oが出せる修理費は2万円が限度、ともかく修理にだすことにする。足取りも重く帰って行く久野さんに、「ドジな男」の話をあげました。

その話とは、群馬のトイレでデジカメと携帯を同時に落としてしまったカミーのことです。臭い！水道の蛇口でジャージャー丸洗いくらいのこと、匂いはとれたので自宅へ持ち帰り、◇部品は全て外し水分を拭き取る。◇ドライヤーで軽く乾かす。◇タンスの上で自然乾燥。なんと二週間後にどちらも復活！携帯の貴重な「アドレス帳」が戻ってきました。

さて久野さんのPCはどうなった？ 例の話は参考になったか？ 数日後彼から喜びのメールが入りました。『お陰様でムギヤPCは生き返りました。0円で。』



■ ブログ「棚田に吹く風」
<http://tanada.sblo.jp/>



栃木県茂木町

茂木プロジェクト

夏季・岩ノ作棚田の 生きもの観察会が終了



子どもも大人も夢中になって探します

7月24日、岩ノ作棚田での「夏季・生きもの観察会」が、無事終わりました。当日の狙い目は、夏の植物とトンボ類。渋谷ふれあい植物センターから参加された方々の指導により、これまで未同定であったクルマバナ、アキノタムラソウ、ヌマトラノオの確定ができました。トンボ類は昆虫少年・斉藤舜貴君(中1)の活躍で、これまで未発見であったミルンヤンマ、コオニヤンマ、モノサシトンボの生息が新たに確認されました。ホトケドジョウも元気でした。

帰途、石畑棚田でハッチョウトンボの観察。長年、保護活動を続けておられる矢野正さんの熱い心には、いつもながら感動しました。

今年は梅雨明け直後から、連日の酷暑続き。当日も栃木県地方は35～36℃の予報。最も気をつけたのは熱中症でしたが、参加者は全員元気で心配無用。その代わり、植物やトンボへの熱中症がなかなか冷めませんでした。

(安井 一臣)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

棚田ビオトープの夏



棚田ビオトープ「ふれあいの棚田」の夏

夏は暑いもの。と言いますが、日本一暑いまち多治見に代表される岐阜県の夏は尋常ではありません。しかし、坂折棚田に行くと、そよ風が吹き少し涼しい気がします。今年は梅雨明け前の7月15日の集中豪雨により、岐阜県内において大きな被害がありました。坂折棚田もこの集中豪雨で、私が見たかぎり3ヶ所で石垣が崩壊していました。3ヶ所とも山際の棚田で、秋から修復を開始しなければ、棚田の耕作放棄が進むと考えられます。

さて、棚田ネットワーク関係者や、岐阜県立国際園芸アカデミー学生・教員が5月に植えた稲苗もすくすく育ち、同時に畦の雑草もすくすく育っています。9月29日(水)には稲刈りや坂折棚田の生物調査などを予定しております。10時集合、15時解散予定。田植えにいらっしゃった神奈川からのネット会員の方。十分な「接待」はできませんが、是非お越しください。

(相田 明)

大阪府中央区

大阪プロジェクト

棚田ファッションショー 企画中!



ファッションショー企画会議の様子

今年の大阪棚田フェスティバルは10月16日です。開催地は三重県伊賀市柘植の忍びの棚田。「三重県なのに大阪棚田フェス?」という声も聞こえてきますが、そこは同じ関西ということで…。

テーマは「棚田は舞台だ」。そしてメインイベントが「棚田ファッションショー」。棚田で活動するのにふさわしいファッションを提案します。その内容についてはまだまだ秘密ですが、棚田むすびの会の有志が集まって現在企画中です。当日は地元のテレビや新聞などにお声がけて、「棚田がなにやら面白そうだ」という報道をしていただき、それで棚田に注目が集まるようにしたいと考えています。11月の東京棚田フェスティバルにも、このファッションショーの一部を持って行くつもりです。モデルさんも併せて募集していますので、よろしくお願いいたします。

なお、この棚田ファッションショーに、「アサヒワンビールクラブ」さんから寄付を頂戴しています。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(中崎 義志晴)

「高齢化する村を応援するプロジェクト(C-day)」は
アストラゼネカの従業員約3,000人が、
全国の棚田のある中山間地域などを訪れ、
農作業などのお手伝いをする社会貢献活動です。

医療用医薬品の開発、製造および販売に従事するアストラゼネカ株式会社(社長:加藤益弘)は、2006年よりCSR(企業の社会的責任)活動の一環として、毎年秋の一日をC-day(Contribution day:貢献する日)と定め、「高齢化する村を応援するプロジェクト」を実施しています。各地域のニーズに応じて農作業や山仕事、環境整備作業等の支援を行うほか、地域の方々との交流を目的に、本プロジェクトのために独自に開発した体操や、懇親会なども行います。

たくさんの汗、いっぱい笑顔(2010年スローガン)



写真左から、岡山県美咲町大坪和西棚田、愛知県新城市四谷千枚田、長野県千曲市姨捨棚田、静岡県松崎町石部棚田

活動地域 5年目となる今年は、10月8日(金)に全国61か所で実施します。

- ・栃木県那須烏山市国見棚田
 - ・岐阜県恵那市坂折棚田
 - ・兵庫県多可町加美区岩座神棚田
 - ・島根県吉賀町柿木村大井谷棚田
 - ・佐賀県唐津市相知町蕨野棚田
- など北海道から沖縄県まで全国39都道府県61か所

「高齢化する村を応援するプロジェクト」

主催:アストラゼネカ株式会社
協力:NPO法人棚田ネットワーク、東京ボランティア・市民活動センター
後援:農林水産省、環境省

地元の皆さん、
今年もがんばります!

AstraZeneca

お問
い合
わせ

アストラゼネカ株式会社
コーポレートマネジメント統括部
広報部 ☎03-5840-1220

棚田の
応援団

わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に
協力したい!」という会員によって自
主的に運営されているNPOです。
消えゆく美しい「棚田」をどのように
保全していくことができるのでしょ
う?一緒に考えませんか?ぜひ、私
たちと棚田の応援団になりましょう!

会員に
なると!

会報誌「棚田に吹く風」(年6回)やイベン
ト案内お届けの他、棚田ネットワークが主
催する各プロジェクト(イベント)への参加
や、スタッフとしての活動もできます。

年会費

○個人会員

維持会員 1口1万円(1口以上)
一般会員 3,000円
学生会員 2,000円

法人会員を募集しています!

私たちの活動にご支援・ご協力をいただ
ける、企業、団体、事業主さまを募集して
います。詳細はお問い合わせください。

年会費

○法人会員

1口3万円(1口以上)

この上のスペース(ページ上1/2サイ
ズ)は法人会員さまのPRスペースとし
て広告や広報にご利用いただけます。
(詳細はお問い合わせください)

編集部から

島棚田は奥が深い!

今号の特集は、夏を意識
して「島棚田」。特集を組む
に当たって「島の定義は?」
「離島に限るの?」「橋が架
かっている島はイメージが違
うのでは?」「そもそも日本
もフィリピンも、バリ島も島
だよ!」など、異論珍論
百出。また、調べていくと「こ
の島はほとんど耕作放棄さ
れてる」「ここは不衛生さ
せてる」「ここは不衛生さ
せてる」には適当でないか
も」などの情報。一方で、新
しく保存会ができていたり、
テレビで話題の「フナ名棚
田」も。
紙面の都合で棚田の宝庫・
淡路島などが紹介できま
せんでしたが、島大好きな
スタッフにはかなりの刺激に
なったようで、「仕事が一段落
したら島に行つてくる」と張
り切っています。

ホームページのぞきを見て!

棚田ネットワークHPIは、主要検索サイ
トの「棚田」で、ほぼトップにランクする優
良サイトです!内容も盛りだくさん、今年
はウェブ独自企画も計画中!乞うご期待。



おすすめ
コンテンツ

『世界の棚田MAP』

棚田はもちろん日本だけではなくま
せん。じゃあ、世界の棚田はどこにあるの?
そんな疑問は、このページで解決!

www.tanada.or.jp

棚田に吹く風

2010年9月号 Vol.72

発行



NPO法人
棚田ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号

Tel / Fax 03-5386-4001

e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp